海津市告示第94号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第101条の規定により、平成21年11月27日に海津市議会第3回臨時会を海津市議場に招集する。

平成21年11月5日

海津市長 松 永 清 彦

付議事件名

1. 平成21年度海津市一般会計補正予算（第4号）
2. 海津市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例
3. 海津市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
4. 海津市職員の給与に関する条例及び海津市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例
5. 契約の締結について

○ 応 招 ・ 不 応 招 議 員

応招議員（18名）

1番	六 鹿 正 規 君	2番	伊 藤 秋 弘 君
3番	浅 井 まゆみ 君	4番	飯 田 洋 君
5番	山 田 武 君	6番	服 部 寿 君
7番	堀 田 みつ子 君	8番	藤 田 敏 彦 君
9番	赤 尾 俊 春 君	10番	川 瀬 厚 美 君
11番	渡 辺 光 明 君	12番	水 谷 武 博 君
13番	森 昇 君	14番	星 野 勇 生 君
15番	永 田 武 秀 君	16番	松 岡 光 義 君
17番	西 脇 幸 雄 君	18番	山 田 勝 君

不応招議員（なし）

平成21年海津市議会第3回臨時会

◎議事日程(第1号)

平成21年11月27日(金曜日)午前9時開議

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の決定について
- 日程第3 議案第73号 平成21年度海津市一般会計補正予算(第4号)
- 日程第4 議案第74号 海津市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第5 議案第75号 海津市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第6 議案第76号 海津市職員の給与に関する条例及び海津市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例について
- 日程第7 議案第77号 契約の締結について
-

◎出席議員(18名)

1番	六鹿正規君	2番	伊藤秋弘君
3番	浅井まゆみ君	4番	飯田洋君
5番	山田武君	6番	服部寿君
7番	堀田みつ子君	8番	藤田敏彦君
9番	赤尾俊春君	10番	川瀬厚美君
11番	渡辺光明君	12番	水谷武博君
13番	森昇君	14番	星野勇生君
15番	永田武秀君	16番	松岡光義君
17番	西脇幸雄君	18番	山田勝君

◎欠席議員(なし)

◎地方自治法第121条の規定に基づき出席を要求した者の職氏名

市 長	松 永 清 彦 君	副 市 長	水 谷 敏 行 君
教 育 長	平 野 英 生 君	総務部長併 選挙管理委員会 事務局長	伊 藤 久 義 君
総務部総務課長併 選挙事務局次長	大 橋 茂 一 君	総務部財政課長	福 田 政 春 君
企 画 部 長	横 井 五 月 君	会 計 管 理 者	安 藤 勉 君
産 業 経 済 部 長	小 野 清 美 君	建 設 部 長	大 倉 明 男 君
水 道 環 境 部 長	高 木 武 夫 君	市 民 福 祉 部 長	安 達 博 司 君
消 防 長	田 中 俊 澄 君	教 育 委 員 会 教 務 局 長	森 島 英 雄 君
監 査 委 員 会 監 査 局 長	館 尋 正 君	農 業 委 員 会 農 務 局 長	水 谷 明 寛 君

◎本会議に職務のため出席した者

議 会 事 務 局 長	後 藤 昌 司	議 会 事 務 局 課 長 補 佐 兼 議 事 係 長	神 田 勝 広
議 会 事 務 局 総 務 係 長	西 村 里 美		

◎開会宣告

○議長（星野勇生君） 定刻でございます。ただいまの出席議員は18名であります。定足数に達しておりますので、平成21年海津市議会第3回臨時会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

（午前9時00分）

◎会議録署名議員の指名

○議長（星野勇生君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第80条の規定により、議長において、7番 堀田みづ子君、8番 藤田敏彦君を指名いたします。

◎会期の決定について

○議長（星野勇生君） 日程第2、会期の決定についてを議題とします。

お諮りします。今臨時会は、本日の1日にしたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（星野勇生君） 異議なしと認め、本臨時会の会期は本日の1日とすることに決定しました。

◎議案第73号 平成21年度海津市一般会計補正予算（第4号）から議案第77号 契約の締結についてまで

○議長（星野勇生君） 次に日程第3、議案第73号から日程第7、議案第77号までの5議案を一括議題とし、市長より提案理由の説明を求めます。

市長 松永清彦君。

〔市長 松永清彦君 登壇〕

○市長（松永清彦君） 皆さん、おはようございます。

本日、ここに平成21年第3回海津市議会臨時会が開催されるに当たり、提出させていただきました議案につきまして御審議賜るものであります。

ただいま上程になりました補正予算1件、条例案件3件、契約案件1件につきまして、提案理由を御説明申し上げます。

最初に、議案第73号の平成21年度海津市一般会計補正予算（第4号）につきまして、御説明申し上げます。

歳入歳出にそれぞれ1,024万2,000円を追加し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ144億2,711万8,000円とするものであります。

歳出といたしまして、新型インフルエンザワクチン接種費用軽減事業で、優先接種者である医療従事者、妊婦、基礎疾患を有する方、1歳未満の小児の保護者等、1歳から高校生相当年齢までと、65歳以上の高齢者のうち住民税非課税世帯の方で、来年3月末までに1回、子供については2回の予防接種を実施し、支払っていただいた費用の助成及び優先接種者のうち、生活保護世帯の方が接種に要する費用1,024万2,000円を計上いたしました。

歳入におきましては、費用の2分の1相当分を国庫補助金512万1,000円、4分の1相当分を県補助金256万円、市の負担分256万1,000円を繰越金で充てるものであります。

次に、議案第74号の海津市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例、議案第75号の海津市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例、議案第76号の海津市職員の給与に関する条例及び海津市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例につきましては、今年度の人事院勧告により、国家公務員に準じて職員の期末・勤勉手当等が引き下げられることから、議会議員及び常勤の特別職職員についても期末手当の支給割合を職員と同様に4.15に引き下げるものであります。職員については、公布日の翌月の初日から本給平均で0.2%引き下げ、自宅に係る住居手当を廃止、期末・勤勉手当を0.35月引き下げるものであります。ことし6月の賞与を0.2ヵ月凍結しておりますので、実質的には12月の賞与は0.15ヵ月引き下げになります。

次に、議案第77号の契約の締結につきましては、高規格救急自動車1台の購入について、去る10月29日に5社の指名による競争入札を行い、取得金額2,236万5,000円で岐阜トヨタ自動車株式会社養老店との間で契約を締結するものであります。入札結果につきましては、指名業者・入札執行一覧表を、本日、お手元に配付させていただいております。

以上、提出いたしました議案につきまして提案理由を御説明申し上げましたが、何とぞよろしく御審議いただきまして、適切な御議決を賜りますようお願い申し上げます。

○議長（星野勇生君） 提案理由の説明が終わりました。

次に、議案第76号について補足説明を求めます。

総務部長 伊藤久義君。

○総務部長併選挙管理委員会事務局長（伊藤久義君） それでは、議案第76号の内容につきまして御説明をさせていただきます。

この条例改正につきましては、人事院勧告に基づくものでございまして、人事院が全国の1万1,100の民間事業所の約46万人の個人別給与を実施調査いたしました。給与につきましては、公務員の民間の4月分の給与を調査いたしまして、ベアの中止、また賃金のカット等を実施した企業の状況も反映いたしまして、主な給与決定要素であります役職段階、また年齢、学歴、勤務地域など、同じ者同士の比較をいたしました。それで、民間企業との較差でございまして、0.24%ございまして、この較差を考慮いたしまして、職員の給料表でござい

ますが、先ほど市長からも提案説明がございましたように、平均で0.2%引き下げるものでございまして、これにつきましては初任給を中心とした若年層でございますけれども、給料表でいきます1級から3級の一部の者については引き下げをせずに、また7級の者につきましては、平均で0.1%上回る0.3%の引き上げをするものでございます。

これに合わせまして住居手当につきましては、民間で支給していないという状況の観点から、今まで月額2,500円支給しておったものをこの12月から廃止するものでございます。

次に、期末・勤勉手当についてでございますが、昨年8月から今年の7月までの1年間の民間の支給実績と公務員の年間支給月数を比較しまして改正するものでございまして、民間の方が4.17ヵ月ということございまして、こういうことから職員についてもこの民間の支給割合に見合うよう年4.5ヵ月分から4.15ヵ月分ということで、0.35ヵ月分引き下げるというものでございます。

また、調整としまして、今年度の給与におけるマイナス改定分につきまして、この4月から11月までの8ヵ月分の給与と6月の賞与分について、先ほど申し上げました較差率0.24%分でございますが、乗じた額を合計したものを12月の期末手当からでございますが減額をさせていただくという主な内容でございます。

〔発言する者あり〕

○総務部長併選挙管理委員会事務局長（伊藤久義君） 失礼しました。説明の中で給与改定の関係で7級を「引き上げ」と申し上げましたが、0.1%上乘せして「0.3%引き下げる」という内容のものでございます。

以上が主な改定の内容となっております。以上でございます。

○議長（星野勇生君） 補足説明が終わりましたので、これから順次、質疑・討論・採決を行います。

初めに、議案第73号 平成21年度海津市一般会計補正予算（第4号）についての質疑を行います。

質疑ありませんか。

〔発言する者なし〕

○議長（星野勇生君） 質疑なしと認め、討論を行います。

討論ありませんか。

〔発言する者なし〕

○議長（星野勇生君） 討論なしと認めます。

これから議案第73号を採決します。

お諮りします。本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（星野勇生君） 異議なしと認めます。よって、議案第73号 平成21年度海津市一般会計補正予算（第4号）については、原案のとおり可決されました。

続きまして、議案第74号 海津市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例についての質疑を許可します。

質疑ありませんか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（星野勇生君） 1番 六鹿正規君。

○1番（六鹿正規君） 議案第74号、海津市議会議員の報酬云々、これについて質疑をいたしますけれども、後で職員の給与も出てまいりますけれども、この問題に関して事前にやっておかなければと思うわけがございますけれども、人事院勧告により減額がされるといったことを踏まえて、職員の給与に対して、私ども議会議員の報酬もそうですけれども、海津市の職員42.3歳、平均の給与が30万5,089円ですか、これに比べて私どもの議員報酬は30万円と、それをまた今回、同じような人事院勧告で同じような下げ幅と、こういったことを考えますと、職員の給与引き下げに対して、本来、私ども議会並びに後出てまいりますけれども、三役の給与も、本来であれば、今回、大幅な減をしたらどうかなと思いますけれども、市長ですか。

○議長（星野勇生君） 六鹿正規君にお尋ねしますが、執行部提案とさせていただいておりますが、このことについて、どなたにお答えをいただく予定で発言されたものでしょうか。

○1番（六鹿正規君） 今、小さな声でちょっと聞こえなかったかもしれませんが、市長どうぞと。

○議長（星野勇生君） 指名が市長にありますので、市長、答弁をよろしくお願いします。

市長 松永清彦君。

○市長（松永清彦君） 議案第74号は議員報酬、費用弁償、期末手当に関する条例の一部を改正する条例で今御審議をいただいておりますので、このことに関して御審議を賜ればありがたいと思いますが、議長さん、よろしく願いいたします。

○議長（星野勇生君） 以上の答弁でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（星野勇生君） 1番 六鹿正規君。

○1番（六鹿正規君） だから、私は、今、後の問題がありますのでということ前置きしたはずだと思いますけれども、本来、私どもの市会議員云々も大幅に減を考えたらどうかと。私は、ちゃんと質問で後のことがありますので一応前置きだけはさせてもらって、今回は、職員と同じじゃなくして大幅な減を考えたらどうかという質問をさせてもらったつもりですけれども、わかりませんでしたか。

○議長（星野勇生君） 申し上げておきます。現在のことについては私見が入っております。いわゆる質疑の分野でありますので、疑義をただすという判断をしていただいて御質問をいただきたいと思います。

したがいまして、議題にかかわりません74号についての御意見と質疑でございますので、その辺、御容赦をください。

御理解いただけますでしょうか。

〔挙手する者あり〕

○議長（星野勇生君） 1番 六鹿正規君。

○1番（六鹿正規君） 申しわけございません、たびたび今御迷惑をかけておるようで、それでしたならば、74号に関して、一部を改正する条例について、大幅な減は考えてみえませんかという質疑にかえます。

○議長（星野勇生君） 市長、答えられますか。

市長 松永清彦君。

○市長（松永清彦君） 議員の先生方の報酬とか、あるいは期末手当、これは市ができましたときに報酬審議会の中でお決めいただいた金額であります。したがいまして、どこが一番適当な金額であるかというのは、その中で判断もしていただく必要があるだろうというふうに思っております。

六鹿議員がおっしゃるように、職員の給与が下がったら議員も三役も下げなさいということですよ、大幅なダウンということは。議員の先生方の給与を下げなさいということでしょう。それは、また機関によって御検討していただくことが必要になるろうかと思えますけれども。

○議長（星野勇生君） ほかに質疑ありませんか。

〔発言する者なし〕

○議長（星野勇生君） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

〔発言する者なし〕

○議長（星野勇生君） 討論なしと認めます。

これから議案第74号について採決をいたします。

お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（星野勇生君） 異議なしと認めます。よって、議案第74号 海津市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例については、原案のとおり可

決されました。

続きまして、議案第75号 海津市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例についての質疑を許可します。

質疑ありませんか。

〔挙手する者あり〕

○議長（星野勇生君） 1番 六鹿正規君。

○1番（六鹿正規君） たびたび御迷惑をおかけします。今回、75号は常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例ですね、これは。この条例に関しても、やはり人事院勧告どおりじゃなくて、もう少し大きな減額をされたらどうかというお尋ねをします。

○議長（星野勇生君） 六鹿正規議員に申し上げます。質疑というところは、先ほどもお願いをいたしました。明確な言葉で最後まできっちり、主観を入れずをお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

〔「議長、休憩」と呼ぶ者あり〕

○議長（星野勇生君） ただいま動議として休憩が入りましたが、動議に賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（星野勇生君） 動議が認められませんでしたので続行します。

ほかに質疑ありませんか。

〔発言する者なし〕

○議長（星野勇生君） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

〔発言する者なし〕

○議長（星野勇生君） 討論なしと認めます。

これから議案第75号を採決します。

お諮りします。本案は原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（星野勇生君） 異議なしと認めます。よって、議案第75号 海津市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例については、原案のとおり可決されました。

続きまして、議案第76号 海津市職員の給与に関する条例及び海津市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例についての質疑を許可します。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（星野勇生君） 6番 服部寿君。

○6番（服部 寿君） 議案第76号に対して質問させていただきます。

海津市における職員の給与、いわゆるラスパイレス指数によりますと、海津市は岐阜県21市の中で21番目でございます。ちなみに、42市町村の中でも39番目と大変低うございますので、私はここでちょっとわかりませんので質問させていただきますが、いわゆる岐阜市であろうが、大垣市であろうが、海津市であろうが、お隣の養老町であろうが、大学卒の初任給は一緒だとお聞きいたしておりますが、なぜこのような差が出てくるのでしょうか、わかりませんので教えてください。

○議長（星野勇生君） ただいまの質疑に対する御答弁をお願いします。

副市長 水谷敏行君。

○副市長（水谷敏行君） ただいまの服部議員の御質問にお答えいたします。

ラスパイレス指数というのは職員の給料プラス地域手当、従前は給料だけでしたけど、現在、地域手当がございますので、給料と地域手当の合計額を国家公務員と比較するというものでございまして、学歴、高卒、短卒、大卒とございます。さらに5歳刻み、それぞれ比較していきます。当然国家公務員というのは大変人数が多うございますし、本市のようなこじんまりとした市ですと職員の数も違ってきます。それぞれの階層の人数も、当然2けた行くか行かないかという層もございます。その中でそれぞれ比較をしてまいりますので、属人的な性格、例えば病気休職等で休んでいて昇給がおくれている職員、そういった職員がいるところでは、当然人数が少ないですので、その職員の影響を大きく受けます。そういったことを換算していくのが一つございます。

もう一つは、これは旧町時代からの中で、現在は普通昇給と特昇は勤評をもとに一緒に行っておりますが、従前は普通昇給は普通昇給、一年の成績を見て定時に昇給をしていくという形でしたが、それとは別に特別昇給というのがございました。これはそれぞれの旧町ごとにやり方も違いますし、特別昇給を行うスパンだとかやり方も異なっておりました。概して、旧3町ともほかの市町に比べると、この特別昇給というのがあまり積極的に行われていなかったというような歴史もございます。さらに、現在では昇格時、1級から2級、2級から3級、補職名で言いますと主任とか主査とか課長補佐に上がった段階にも特別昇給というのがございました。さらに、入庁年次の経済状況等も見ながら一斉に昇短をしたこともございました。そういったことも各旧町においては行われていなかったと、ほかの市町では行われていたといったような事情もございまして、総体的にラスということで見れば21市の中で一番低いと。

ただ、個別に見ていきますと、あくまでもラスはラスでございまして、ラスが低いから実際の給与が低いかということ、一概にはそうとは言えないということもございます。ちなみに、海津市の場合、課長補佐以上に管理職手当を出しておりますので、課長補佐以上は当然その

手当でカバーされています。また、35歳以下の職員についても、決して低くはございません。ただ、低いのは40歳を中心とした、いわゆる3級の主査階層職員のところ、この部分が低いと。これは昨日、言い漏らしましたが、女性の職員の率も多いと。これまで女性の職員については、昇給・昇格等がおくれていたというようにいきさつもございまして、そういった総合的な理由により総じてラスが低いというふうに判断をしております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（星野勇生君） 6番 服部寿君。

○6番（服部 寿君） ありがとうございます。旧町時代からの普通昇給等でも特別昇給もしてなかったということで低いということがわかりましたが、いわゆる市長の判断で、21番目が誇れる数字とは思っておりませんので、この人事院勧告で今回条例改正が出ておりますけれども、これは粛々と賛成するものでございますが、いわゆる平均並みに、岐阜市の職員と海津市の職員の仕事の量が違うということはないと思いますので平均並みに、いわゆる市の平均95.5に極力近づけるように市長の判断でしていただきたく、それでもう2点、質問させていただきます。

過日、瑞穂市でこの条例改正が否決されました。新聞報道によりますと、瑞穂市で2,600万円の減額ができなかったということでございますが、海津市におけるこの条例改正におきまして可決された場合に、どのぐらいの減額の規模になるのか教えていただきたいと思えます。

以上1点、お願いします。

○議長（星野勇生君） 副市長 水谷敏行君。

○副市長（水谷敏行君） 2点目の方をまずお答えさせていただきます。

人勧どおりに実施されなかった場合、現在のままで期末・勤勉手当が推移した場合の持ち出し分は約2,500万円になります。前日も申し上げましたが、その場合、20年度の例を見ますと、特別地方交付税がその分が減額されますので、基本的に5,000万円の分が新たに市として持ち出しが必要になるということでございます。

したがいまして、この5,000万円をいかにして捻出するかということでございますが、選択肢の一つですけれども、その場合、職員の例月給与を約1割以上カットして対応するということにならざるを得ない。それも選択肢の一つとして期間限定で3ヵ月程度、給与を1割減額してその分を捻出するという方法も選択肢の一つとして持ち合わせております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（星野勇生君） 6番 服部寿君。

○6番（服部 寿君） 副市長に先に言われてしまいましたけれども、過日、瑞穂の議長に電話で聞いてみたんですが、副市長もこの前、全協の折に申されました、2,600万円の減額が

できなかつたら来年以降の交付税の減額がある、いわゆる掛ける2の5,200万、今、副市長がおっしゃった海津市では2,500万の減額ができなくなり、来年度の交付税が2,500万、いわゆる掛ける2の5,000万、減額と減収になるということでございます。そういう判断をさせていただきますが、これは国からですが、もしこれが否決ということになると県からの、言葉が的確かわかりませんが、そのふうのいわゆる補助金、交付金等のマイナス分というのは予想されますか。

○議長（星野勇生君） 副市長 水谷敏行君。

○副市長（水谷敏行君） 私は現在市の職員でございますので何とも言いようがないんですが、県の立場であれば、人勤を上回って期末・勤勉を出すような自治体であれば、箇所指定等の問題だとか、県の補助金の場合、選考の一つとしてそういったことは考慮することはあろうかと、これはあくまでも推測ですけれども、思われます。

○議長（星野勇生君） その他質疑ありませんか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（星野勇生君） 7番 堀田みつ子君。

○7番（堀田みつ子君） 服部議員とは別の観点からということで、本来、人事院の役割というものに対する認識を、市長、お願いしたいということと、これで結局、年間減になる、夏の期末も減になったわけですけれども、年間どれくらいの減がされるのかということも教えていただきたい。

とりあえず、まずその2点をお願いします。

○議長（星野勇生君） 市長 松永清彦君。

○市長（松永清彦君） 人事院に対してどう思っているかという、どういう評価をしているかという御質問でございますが、例えばそういった判断をする機関をすべてが持つておれば、人事院に従うということだけでなくともよいかもしれませんが、海津市の場合には、どういう判断をしていったらいいかということのを公正に出しておられる人事院勧告に従っていききたい、このように考えているところであります。

数字につきましては、総務部長が答えます。

○議長（星野勇生君） 総務部長 伊藤久義君。

○総務部長併選挙管理委員会事務局長（伊藤久義君） それでは、この改正に伴います減額の関係でございますけれども、まず給与関係から申し上げますと、給料の関係でございますが、平均で0.2%引き下げるものでございますが、この分につきましては、今後の12月から3月分までで約100万円の減額となります。そして住居手当の関係で申し上げますと、35万円でございます。それと期末・勤勉手当の関係でございますが、先ほど副市長の方からは12月分の関係の金額を申されましたが、6月分、これは支給済みでございますけれども、この分の

影響で3,100万円と12月分で2,500万円、合わせまして5,600万円となります。

それで調整の関係でございますが、給与分、先ほどこの12月から3月まで申し上げましたが、過ぎておりますこの4月から11月分までで240万円の減額、そしてあと諸手当がございます。これは扶養手当、管理職手当、住居手当等が含まれるわけでございますが、この減額分を合わせますと20万円、そしてそれに伴いまして、また6月分のマイナス改定分がございますが、これは0.24%の分ですが60万円、これらの調整額を合わせますと320万円の内容となっております。以上でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（星野勇生君） 7番 堀田みつ子君。

○7番（堀田みつ子君） すみません、聞き方が悪かったようで、職員の年間の給与はどれくらいかかるのかなということをお聞きしたかっただけなんですけれども、とりあえずのところ。

とりあえず市長には、一応人事院とはというふうで、それなりの役割があるということを確認しておいていただきたいということがあるんですね。これは、人事院の方は労働基本権制約の代償機能を果たすというのがありますので、当然労働組合であるだとか、そういう団体交渉であるだとか、そういうことが認められておりませんので、公務員としては、だから、労働者としてきちんと保障はされるべきであるものですから。ただ、この今回の人事院勧告自体がそれに少しも、こういう労働基本権を制約する代償措置とは思えない、私はそういうふうを考えていますけれども、とりあえず、そうやって人事院とはというふうな認識だけは持っていただきたいなと思っております。

で、先ほどはラスパイレス指数が低い、じゃあ、なぜラスパイレス指数をこういう指数で出してくるかという、それなりに比べる一つの指標にはなるということだと思いますので、そのラスパイレス指数が低い海津市が、なぜ勧告を実行する必要というのが本当にどこにあるのかというのをもう一度お聞かせ願いたいと思います。

○議長（星野勇生君） 市長 松永清彦君。

○市長（松永清彦君） 先ほど副市長が御説明いたしましたように、各年齢層、あるいは海津市になってそういう形になっているわけでありましたが、すべての層がそういうことであるということではございませんので、お許しを願いたいと思っております。

きょう、議員の先生方に職員の給料が低いから何とかしろというお話を承って大変ありがたく存じておりますが、いろんなところへ出ますと、まだまだ職員の給料は高いんじゃないかというお話も承っております。その中で、どういった形で公平にやっていくかという中で、先ほども申し上げましたように、人事院の勧告に沿って進めてまいりたいと、このように思っているところであります。よろしくお願い申し上げます。

○7番（堀田みつ子君） 年間どれくらいというのが、答えがまだ聞いていないので、平均で。

○議長（星野勇生君） 水谷副市長。

○副市長（水谷敏行君） 給与等については影響が少ないですので、実質12月のボーナス分のはね返し分は、1人当たり平均しますと4万7,000円でございます。住居手当については対象者が少のうございますので無視しまして、12月の期末・勤勉手当の分だけで4万7,000円、平均しますとその金額になります。

○議長（星野勇生君） そのほか質疑ありませんか。

[発言する者なし]

○議長（星野勇生君） これで質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論される方は壇上にてお願いします。

まず、原案に反対の発言を許可します。

7番 堀田みつ子君。

[7番 堀田みつ子君 登壇]

○7番（堀田みつ子君） 議長の許可を得ましたので、これから反対討論を行いたいと思います。

本来、人事院の役割は、労働基本権が制約されている公務員の代償機能を果たすことにあります。しかし、2002年に小泉内閣が打ち出した総人件費抑制政策が本来中立であるべき人事院に押しつけられ、この間の人事院勧告は、公務員の労働基本権を制約する代償組織とは到底言えません。

さらに、もともとラスパイレス指数が88.5と、岐阜県下の市の中で最下位という低い水準の海津市が、人事院勧告をそのまま実行すべきだとは思いません。民間が低いといって公務員も下げていくという議論は納得できないところでございます。

公務員賃金の水準は、地域での給与水準において標準性を持っており、地域経済に大きな影響を与えます。収入の減少は、減少の幅よりもさらに財布のひもを締めさせ、地域経済を冷え込ませるマイナスの効果しか与えないと考えます。

目先のことだけにとらわれることなく、正当な賃金の保障をして、意欲を持って市民のために働いていただくことは市民にとっても海津市にとっても重要なことであると考えて、この議案に反対いたします。ありがとうございました。

○議長（星野勇生君） 次に、原案に賛成者の発言を許可します。

13番 森昇君。

[13番 森昇君 登壇]

○13番（森 昇君） 皆さん、おはようございます。

議案第76号 海津市職員の給与に関する条例及び海津市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例について、原案に賛成するものとして賛成討論を行います。

本条例改正については、人事院の給与勧告を受け、職員に対し社会一般の情勢に適応した適正な給与を確保する機能を有するものであり、公務員の給与水準を民間企業従業員の給与水準と均衡させることを基本に勧告が行われていますので、必要な条例改正と確信するものであります。

よって、議案第76号 海津市職員の給与に関する条例及び海津市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例については、賛成するものでございます。

以上、賛成討論といたします。

○議長（星野勇生君） ほかに討論ありませんか。

〔発言する者なし〕

○議長（星野勇生君） これで討論を終わります。

これから議案第76号を起立によって採決します。

原案に賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（星野勇生君） 総数17名、起立12名、賛成多数です。よって、議案第76号 海津市職員の給与に関する条例及び海津市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例については、原案のとおり可決されました。

続きまして、議案第77号 契約の締結についての質疑を許可します。

質疑ありませんか。

〔発言する者なし〕

○議長（星野勇生君） 質疑なしと認めます。

これから討論を行います。

討論ありませんか。

〔発言する者なし〕

○議長（星野勇生君） 討論なしと認め、議案第77号を採決します。

お諮りします。本案は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（星野勇生君） 異議なしと認めます。よって、議案第77号 契約の締結については、原案のとおり可決されました。

◎閉会の宣告

○議長（星野勇生君） 以上をもちまして、本臨時会に提出されました案件は、すべて終了いたしました。

これをもちまして、平成21年海津市議会第3回臨時会を閉会といたします。御苦労さまでございました。

（午前9時42分）

上記会議録を証するため下記署名する。

平成21年11月27日

議 長

署 名 議 員

署 名 議 員